



海南高等学校SSH成果発表会

2月14日(水)、本校体育館においてSSH成果発表会を開催し、1・2年生およびSSH運営指導委員の先生方や県内の高校教員が参加しました。

午前中の発表では、課題研究5テーマと研修報告1テーマの口頭発表が行われました。午後からは、本校のSSH卒業生である京都大学大学院博士後期課程1年岡崎恵様に『恵みの雨が辿った軌跡』と題する特別講演をしていただきました。現在取り組まれている新しい関数を用いた雨滴粒径分布の解析に関する研究内容を中心に「修士課程と博士課程における研究の違い」や「研究から学ぶ人生に大切なこと」などをお話いただき、研究に対する姿勢を教えてくださいました。



最後に、課題研究の全グループが参加し、ポスターセッションを行いました。今年度からは2年文系クラスの生徒も課題研究に取り組んでおり、活気のあるポスターセッションとなりました。各グループは1年間取り組んだ内容を伝えようと熱心に発表し、来年度課題研究に取り組む1年生にとっては今後の展望を得る機会になりました。

【口頭発表テーマ】

1. ～物体を遠くまで飛ばす原理とは～(物理)
2. 廃棄物の繊維リサイクル(化学)
3. トランプマジックを数学の力で(数学)

4. スポーツの可能性は無限大!!
(スポーツ・芸術)
5. 商店街の活性化を目指して(人文経済)
6. SSH関東研修 ～筑波&ちょこつと東京～
「知識の探求と未来への道」

第76回卒業証書授与式



3月1日(金)、第76回卒業証書授与式を行いました。胸にコサージュをつけた卒業生が拍手に迎えられて入場し、開式。クラス担任から一人ひとり呼名され、各クラス代表者に卒業証書が授与されました。

川久保校長は式辞の中で、「2000年以降、NY同時多発テロや東日本大震災、新型コロナのパンデミックなど百年に一度と言われる大きな出来事が頻発しています。また、現代社会は価値観の変化が急速に世の中を変えていく時代に入ったとも言われています。そこでは前例のない局面で迅速な判断を求められ、自ら課題を見出し解決策を提示する力が求められることになります。このためこれからも自らの意思で学び続けてほしいと思います。」と話されました。

また、元NHKアナウンサーの山根さんがある講演会で『SNSでネット言葉があふれ、即応性が求められる今、熟慮する、推敲することが疎かになっていないか、私たちの思考力が衰え心を伝える力が弱くなっていないかと心配している。』と話していたことを紹介し、「皆さんには大切な人と心を通わせ、より充実した人生を送るため言葉の力を磨くことにもエネルギーを注いでほしい。」と卒業生にエールを送られました。



(未了)

在校生代表の 田中 早帆 さんは、憧れの先輩方と過ごした日々を回想したあと、自由と自らの真実を求めつづけた歌手 尾崎 豊 の言葉を紹介し、「皆様であれば、自分のしたいこと、大切にしたいことに心の財産を支払って、自分だけの答えを導き、夢をかなえてくれると信じています。先輩方がつないでくださった海南高校は、新世紀へと歩み始めました。これまでの伝統を守りつつ今後のさらなる発展に尽力いたします。」と、送辞の言葉を送りました。



また、卒業生の 大野 真由 さんは答辞で、コロナ禍の制限もあるなか精一杯前を向いて過ごした三年間の高校生活を振り返りました。そしてフランスの哲学者アンリ・ベルクソンの『存在することは変化すること。変化することは成熟すること。成熟することは、自らを創り出し続けること』という言葉を他の卒業生に贈りました。

「価値観が多様化する中で成熟し、自らを創り出し続けるのに必要なことは、『学び』を通して自分を少しずつ進化させることだと思います。海南高校での『学び』は私たちの財産です。今日の卒業は終わりではなく『学びを深める新たなスタート』と捉え、さらに成長し社会に貢献できるよう努力していきたいと思います。」と述べました。厳粛で心温まる卒業証書授与式となりました。